

# 「ぼけますから、よろしくお願いします。」

愛鷹地区で過去に一度上映会を行っている映画ですが、今回3年ぶりの再上映を企画しました。将来ご自分やご家族・ご友人に起こるかもしれない「自分事」として、認知症ケアについて知っていただく機会になれば幸いです。

令和5年9月2日(土) 13:30~15:30

愛鷹地区センター 大会議室 開場13:10~

愛鷹地区の在住の方ならどなたでも 定員40名 (申込みが必要です。)

令和元年度  
文化庁映画賞  
文化記録映画大賞

ぴあ映画  
旬日満足度1位  
(2016年10月)

第92回  
日本アカリオン  
文化映画3位

第43回  
日本カトリック  
映画賞

2016年度  
全国映画賞  
特別賞

第36回  
日本映画  
復興奨励賞

文部科学省  
特選決定映画

厚生労働省  
推薦映画

認知症の母と耳の遠い父と離れ暮らす私—  
**ぼけますから、よろしくお願いします。**  
ドキュメンタリー映画

広島県呉市。泣きながら撮った1200日の記録

沼津市主催で信友監督の講演会  
(映画上映は無し)があります。  
10月16日(月)14時から  
プラザヴェルデにて  
9/1 市広報に掲載予定

監督・撮影・語り  
ひとり姐 **信友直子**

プロデューサー：大島新 斎藤 共同プロデューサー：前田由紀 原田樹 山口浩史  
編集：日見田 実業撮影：前 幸乃 音響効果：金田剛子 ライン編集：池田 聖 監修：高水薫一  
配給宣伝協力：ホレボレ夢中野 ワッキー・プロダクション 製作・配給：ネウケン フジテレビ 関西テレビ  
2018年/日本/カラー/102分/©「ぼけますから、よろしくお願いします。」製作・配給委員会 [www.bokemasu.com](http://www.bokemasu.com)

母、87歳、認知症。  
父、95歳、初めての家事。

広島県呉市。この街で生まれ育った「私」(監督・信友直子)は、ドキュメンタリー制作に携わるテレビディレクター。18歳で大学進学のために上京して以来、40年近く東京暮らしを続けている。結婚もせず仕事に没頭するひとり娘を、両親は遠くから静かに見守っている。

そんな「私」に45歳の時、乳がんが見つかる。めめめそしてばかりの娘を、ユーモアたっぷりの愛情で支える母。母の助けで人生最大の危機を乗り越えた「私」は、父と母の記録を撮り始める。だが、ファイナダーを通し、「私」は少しずつ母の変化に気づき始めた…

病気に直面し苦悩する母。95歳で初めてリンゴの皮をむく父。仕事を捨て実家に帰る決心がつかず揺れる「私」に父は言う。「(介護は)わしがやる。あんたはあんたの仕事をせい」。そして「私」は、両親の記録を撮ることが自分の使命だと思い始め—

大反響のテレビドキュメンタリー、待望の映画化。

娘である「私」の視点から、認知症の患者を抱えた家族の内側を丹念に描いたドキュメンタリー。2016年9月にフジテレビ/関西テレビ「Mr.サンデー」で2週にわたり特集され、大反響を呼んだ。その後、継続取材を行い、2017年10月にBSフジで放送されると、視聴者から再放送の希望が殺到。本作は、その番組をもとに、追加取材と再編集を行った完全版である。娘として手をさしのべつつも、制作者としてのまなざしを愛する両親にまっすぐに向けた意欲作。

こちらのQRコードからも申込みできます



申込み・問合せ あしたか地域包括支援センター

☎055-967-2988 (月~土 8~17時)